

— 富士森林計画区における国有林の森林計画樹立・策定に関する意見交換会を開催しました —

令和7年1月23日、富士森林計画区における、国有林の新たな森林計画樹立・策定に関する意見交換会を、静岡県・地元自治体・森林組合・NPO法人・木材関連事業者等の総勢40名程の参加を得て、静岡県富士総合庁舎で開催しました。

静岡森林管理署から、富士森林計画区におけるこれまでの取り組み、次期計画に向けた今後の方針等の説明を行った後、意見交換を行いました。事前にいただいていた御意見・御質問等や、当日出された御意見等を検討・反映しつつ、次期森林計画の策定を進めていくこととしています。



高柳署長による挨拶



スライドによる説明

【説明資料の一部】

第6次計画期間中（R3～R6まで4年間）の実績

〇更新・保育状況

更新面積 88 ha
スギ 130 本
ヒノキ 204,750 本
下刈面積 307 ha
シカ柵設置 35,467 m



列状間伐の実施による間伐方法の見直し



路網の整備（森林作業道）



〇林道整備

新設工事 1,101m（林業専用道）

改良工事 25箇所

災害復旧工事 2箇所



【林業専用道新設】富士宮市上野山地区において、林業専用道の建設事業を実施。既存の林道と並行して新たな林道を新設することにより、木材搬出の効率化や災害時の迂回ルートとしての機能が期待されます。

【古い林道と地盤の改良】近年の集中豪雨による災害を未然に防ぐため、林道の地盤を改良し、道路の強度を高めることにより、壊れにくい道路への改良を行っています。

【被災した林道の復旧】台風や集中豪雨により被災した林道の復旧を急ぎ進めています。被災箇所を速やかに復旧することにより、林道の機能を回復し、木材搬出の効率化を図っています。

伐採や搬出に使用した林業機械による地盤の改良や、植栽はコンテナ苗・植栽本数を低密度として植栽作業の効率化を図るほか、下刈は一部全刈から部刈とするなど、地盤・植栽・下刈の省力化・効率化を進める。



大型機械による林内作業
トラクタによる除草・散草管理資材の運搬

コンテナ苗の植栽（環境保護・作業効率）
低密度植栽（低コスト・低密度による効果）

部刈による下刈実施により林内環境を少なくする

〇治山事業 山腹工 3箇所 溪間工 19基 森林整備 2ha



地上レーザによる林況調査

地上型3Dレーザスキャナにより、森林内の樹木や地形を詳細に測定することができ、高径・樹高・位置などを把握することができ、従来の手法による調査と比較して、時間短縮・人員の省力化が期待されます。また、三次元点群データによる3Dモデルにより視覚的に林内の状況を把握でき、計測結果の電子化により、記録の入力や計算の手間が省けるなどメリットがあります。

